

新居浜工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	数値計算法及び演習 A	
科目基礎情報							
科目番号	610019			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 3		
開設学科	生産工学専攻（機械工学コース）			対象学年	専2		
開設期	前期			週時間数	前期:4		
教科書/教材	配布プリント						
担当教員	三井 正						
到達目標							
1. 配列を使って行列を表現し、行列の計算を行うことができる。 2. 反復法の考え方を説明できる。 3. 連立方程式の解法のアルゴリズムを説明できる。 4. 補間のアルゴリズムを説明できる。 5. 数値積分のアルゴリズムを説明できる。 6. 微分方程式の解法のアルゴリズムを説明できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	配列を使って行列を表現し、行列の積などの複雑な行列計算を行うことができる。			配列を使って行列を表現し、行列の簡単な計算を行うことができる。		行列の簡単な計算を行うことができない	
評価項目2	反復法の考え方および収束判定について説明することができる。			反復法の考え方を説明することができる。		反復法の考え方を説明できない。	
評価項目3	ヤコビ法、ガウスの消去法のアルゴリズムを説明でき、プログラムを作成できる。			ヤコビ法、ガウスの消去法のアルゴリズムを説明できる。		ヤコビ法、ガウスの消去法のアルゴリズムを説明できない。	
評価項目4	補間のアルゴリズムを説明でき、プログラムを作成できる。			補間のアルゴリズムを説明できる。		補間のアルゴリズムを説明できない。	
評価項目5	数値積分のアルゴリズムおよび分割数と誤差の関係を説明できる。			数値積分のアルゴリズムを説明できる。		数値積分のアルゴリズムを説明できない。	
評価項目6	微分方程式の解法のアルゴリズムを説明でき、プログラムを作成できる。			微分方程式の解法のアルゴリズムを説明できる。		微分方程式の解法のアルゴリズムを説明できない。	
学科の到達目標項目との関係							
自然科学および複合的な工学の知識 (A)							
教育方法等							
概要	連立一次方程式の解法、数値積分、常微分方程式の初期値問題などについて、コンピュータを用いたプログラミングの演習を行うことにより、数値計算法の基礎知識を学習する						
授業の進め方・方法	配布プリントをもとに、各種数値計算法を説明し、実際にプログラムを作成する演習を行う。						
注意点	本科目を履修するためには1年生のプログラミング演習でプログラミングの基礎を習得しておく必要がある。 また、欠課時間数が総授業時間の1／4を超えた場合は、原則として単位を認定しない。						
本科目の区分							
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ニュートン法と誤差			2	
		2週	配列と行列1			1	
		3週	配列と行列2			1	
		4週	連立1次方程式の解法 ヤコビ法、ガウス・ザイデル法			2,3	
		5週	連立1次方程式の解法 ガウスの消去法 1			3	
		6週	連立1次方程式の解法 ガウスの消去法 2			3	
		7週	ラグランジュ補間			4	
		8週	中間試験				
	2ndQ	9週	試験返却及び解説、数値積分 台形則			5	
		10週	数値積分 シンプソンの公式			5	
		11週	1階常微分方程式の解法 オイラー法			6	
		12週	1階常微分方程式の解法 修正オイラー法			6	
		13週	1階常微分方程式の解法 ルンゲ・クッタ法			6	
		14週	高階常微分方程式の解法 オイラー法、修正オイラー法			6	
		15週	期末試験				
		16週	試験返却及び解説				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
		試験	課題			合計	
総合評価割合		80	20			100	
基礎的能力		80	20			100	
専門的能力		0	0			0	

分野横断的能力	0	0	0
---------	---	---	---